

開業22周年を迎えた、地域に根付いた泌尿器科の専門クリニック



「日々の診療はもちろんですが、最先端の医療の知識や技術の習得と研さんを心がけ、患者さんへのより良い医療の提供に努めています」と話す岩澤院長。また、日本臨床泌尿器科医会専務理事として、全国各地の医師とコミュニケーションを図りながら高度な泌尿器科医療を展開している



- ①清潔感あふれる明るい院内
- ②最新型のマルチスライスCTを導入。検査室はヒーリングアートを取り入れ、落ち着いた気持ちで検査ができる
- ③日々研究に努め、日本の泌尿器科をけん引する岩澤院長

院長 岩澤 晶彦氏

1977年札幌西高校卒業。85年札幌医科大学卒業。同大泌尿器科入局。94年ヘルシンキ大学留学、96年北里柴三郎記念学術奨励賞受賞。日本臨床泌尿器科医会専務理事。日本泌尿器科学会オフィスロジーバー副会長。北海道臨床泌尿器科医会副会长。札幌市ビル医会会長。医学博士

岩澤院長は、「早期に治療することを第一に考え、できるだけ外で早く診断と治療を行うよう心がけています」と話す。それは医療方針・理念でもある「迅速性（スピード）」を重視した診断・治療に力を入れているからだ。その理由は「病気は早期発見が大切で、早期であれば、がんであっても完治することができる」との考え方だ。また、医療にとって最も重要な「正確性」には細心の注意を払い、取り組んでいることは言うまでもない。診察した結果により手術が必要な場合は、「ニーズに合わせて札幌市内に限らずどこの病院でも紹介できる」と病診連携

岩澤院長は、「早期に治療することを第一に考え、できるだけ外で早く診断と治療を行うよう心がけています」と話す。それは医療方針・理念でもある「迅速性（スピード）」を重視した診断・治療に力を入れているからだ。その理由は「病気は早期発見が大切で、早期であれば、がんであっても完治することができる」との考え方だ。また、医療にとって最も重要な「正確性」には細心の注意を

岩澤院長は、「早期に治療することを第一に考え、できるだけ外で早く診断と治療を行うよう心がけています」と話す。それは医療方針・理念でもある「迅速性（スピード）」を重視した診断・治療に力を入れているからだ。その理由は「病気は早期発見が大切で、早期であれば、がんであっても完治することができる」との考え方だ。また、医療にとって最も重要な「正確性」には細心の注意を

1998年に開業してから20年2月で開院22周年を迎えた。

にも積極的に安心の体制が整う。さらに「迅速性」「正確性」と同時に重視するのが、患者に対しても「誠実性」だ。そのため接遇教育にも力を入れ、この考えは全職員に浸透して、岩澤院長を中心

に全職員が患者のために高いホスピタリティをもって対応する。患者からは「親身になって話を聞いてくれる」と評判だ。院内には最新のマルチスライスCTとエコーを導入し、診断精度がさらに充実。あらゆる面で質の高い医療を提供するクリニックと言える。

岩澤院長は06年に日本臨床泌尿器科医会の理事に就任、12年から常務理事も務め、14年からは専務理事に昇任し、日本の泌尿器科をけん引する。これまでの実績が認められた結果であり、より泌尿器科医患に関する最先端の医療情報を患者に提供してくれる。また20年1月には札幌市医師会中央区西部一部の表彰状を授与している。

泌尿器科

医療法人 札幌会

岩澤クリニック

📞 011-613-6000

札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2階

<http://www.iwasawa-clinic.jp/>

受付時間／

月・水

8:30~11:00 15:00~16:30 (完全予約制)

16:30~17:30

火・木・第2・4土曜

8:30~11:00

金曜

8:30~11:00 15:00~16:30 (完全予約制)

休診日／第1・3・5土曜・日曜・祝日

最寄りアクセス／

地下鉄東西線西18丁目駅5番出口から徒歩2分